

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年05月11日

計画の名称	自然・都市と農村が調和するまちづくり											
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	矢巾町											
計画の目標	1 矢巾町民の移動の利便性及び安全性の向上を図り、かつ岩手医科大学附属病院総合移転計画に伴う広域医療の支援を担う路線整備を行う 2 アクセス機能や都市機能の充実を図ると共に、誰もが安全に行き交うことができる快適なまちづくりを実現する											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,557	A	1,557	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	土地区画整理事業による街なか居住人口の増加 土地区画整理事業地区内を含む行政区の人口を計測する 当初現況値をH27.4時点、最終目標値をH32.3時点で計測(人)	947人	960人	960人
2	駅アクセスの利便性・安全性を向上させる土地区画整理事業地内の都市計画道路の整備率の向上 土地区画整理事業地内の計画道路の整備率を算出する 整備をおこなった道路延長 / 整備を要する道路延長(%)	60%	100%	100%
3	岩手医科大学附属病院の移転に伴い、交通の集中が見込まれる道路の整備を行い、利便性を向上させると共に、通学路の安全性を向上させる 地域医療及び地域間交流等を支える道路の整備率を算出する 整備をおこなった道路延長 / 整備を要する道路延長(%)	0%	35%	70%
4	通学路の整備に加え、片側1車線を確保されていない道路のバイパスを整備し利便性・安全性の両方を向上させる バイパスの整備が必要な道路の整備率を算出する 整備をおこなった道路延長 / 整備を要する道路延長(%)	0%	35%	50%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	矢巾町	直接	矢巾町	市町村道	改築	(1)中央1号線外 藤沢工区外	道路改築 L=1.3km	矢巾町						1,256	-	
	A01-002	道路	一般	矢巾町	直接	矢巾町	市町村道	改築	(2)矢次線 赤林工区	道路改築 L=0.52km	矢巾町							17	-
	A01-003	街路	一般	矢巾町	直接	矢巾町	区画	改築	矢幅駅前地区土地区画整理事業	区画整理 A=11.6ha	矢巾町							229	-
	A01-004	道路	一般	矢巾町	直接	矢巾町	市町村道	改築	(他)猪去中央線	道路改築 L=0.3km	矢巾町							55	-
												小計						1,557	
												合計						1,557	

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	C01-001	道路	一般	矢巾町	直接	矢巾町	区画	改築	矢幅駅前地区土地区画整 理事業（宅地造成等）	区画整理 A=11.6ha	矢巾町						0	-		
		矢幅駅前地区土地区画整理事業（9-A-3）と一体的に同地区内の宅地造成、移転補償、測量業務、換地計画、換地処分、登記業務を実施することにより地区内の道路や街路の円滑な整備を推進する																		
											小計						0			
											合計						0			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 事業担当部署にて事後評価を実施	事後評価の実施時期 令和3年5月
	公表の方法 矢巾町ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業により街なか居住人口が増加し目標値を達成できた。 ・土地区画整理事業内の都市計画道路の整備率を向上させたことにより、駅アクセスの利便性・安全性の向上が図られた。 ・交通集中が見込まれる道路の整備率が向上したことにより、通学路の安全性及び広域医療の支援を担う路線の利便性の向上が図られた。 ・通学路の整備及びバイパスの整備が必要な道路の整備率を向上させることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
道路改良事業について引き続き推進することで、道路の利便性・安全性を向上させ、誰もが安全に行き交うことのできる快適なまちづくりの実現を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	960人
	最終実績値	978人
2	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
3	最終目標値	70%
	最終実績値	76%
4	最終目標値	50%
	最終実績値	36%

一部事業において用地交渉に不測の事態が生じたことで、施工が部分的となり目標値と実績値に差がでたと考えられる。